

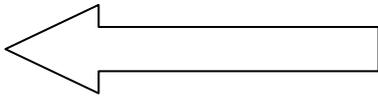
劇の舞台のように利用する工夫

資料名「二つのアサガオ」の例 出典「彩の国の道徳〈低学年〉」(埼玉県教育委員会)

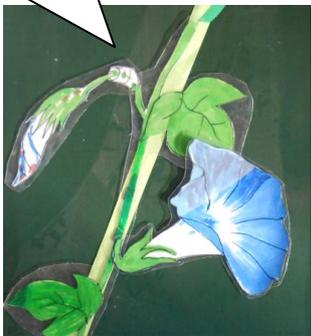
つぼみをおってしまい困っている主人公



きれいなアサガオを見てうれしそうな主人公



取れたつぼみをセロハンテープで貼る様子



つぼみの取れた様子



○ 話合いの流れに沿って黒板に掲示していくことで、場面の状況等がとらえやすくなります。

対比的に示す工夫

資料名「かなちゃんへの手紙」の例 出典「彩の国の道徳〈中学年〉」（埼玉県教育委員会）

友だちな
のに……

・2つの気持ちの
対比を際立たせ
る。
・色チョークなど
を活用し、視覚
的にも分かる工
夫をする。

かなちゃんへの手紙

わたし
かなちゃん
とても仲良し友だち
いっしょに遊ぶ
けんかをしてしまう

悪口の手紙を書き、
つくえの前に立った。

大きらい
イライラする。
頭にきた。
もう遊ばない

友だちなのに...
悲しむ
だろつな
友だちでは
いられなく
なっちゃう

大きらい

留意点

- ねらいにかかわって、指導の意図や資料の内容の整理、児童の感じ方や考え方を視覚的に整理して生かすために、学習指導過程との関連をもたせて計画を立てておきます。
- 児童と共につくっていくような創造的な板書となるよう心掛けることも大切です。
- 場面絵などは、学校（学年）で保管して、教師同士で共有できるよう工夫しましょう。
- 「彩の国の道徳」の場面絵は、埼玉県HPから印刷して使用することができます。